

## 横浜市多文化共生まちづくり指針の改定に向けた 多文化共生ワークショップ実施結果

令和5年12月  
横浜市国際局政策総務課

### 【実施概要】

実施日	令和5年9月23日（土） 午前10時から正午まで
実施場所	市役所会議室
実施目的	「横浜市多文化共生まちづくり指針」を改定に向けて市民から広く意見等を聞き取る こと
参加人数	総計：16名、4グループ Aグループ（外国人1名、日本人3名）／Bグループ（外国人1名、日本人3名） Cグループ（外国人1名、日本人2名）／Dグループ（日本人4名）

### 【当日のプログラム】

行程	内容
① 挨拶	国際局政策総務課多文化共生担当課長の挨拶
② 指針説明	政策総務課より横浜市の外国人の現状分析と今後の指針の方向性案についての説明
③ ワークショップ1	<u>「自己紹介及び多文化共生に関心があること」</u> ・各グループ話し合い ・発表
④ ワークショップ2	<u>「各シチュエーションをもとに横浜市に住む外国人がともに暮らしていく中で困っていること、こうしたほうがいいことを話し合う」</u> ・各グループ話し合い ・発表
⑤ まとめ	各発表のまとめ
⑥ アンケート	アンケートの記入・解散

### 【ワークショップ】

シチュエーション・家族設定をし、以下の課題についてグループ内で考え、まとめました。

- ① 外国人と日本人がともに暮らしていく中で困っていること
- ② できること（現在の制度や行政サービス等でできること）
- ③ こうしたほうがいいと思うこと（現在はないが、将来的にあったら良いと思うこと）

## 【主に出た意見】

### (1) 母親が活躍できる居場所づくり

#### 日本語がうまくできないため孤立するという意見が多かった

- ・近所に相談できる居場所や地域の人と交流できる場の提供
- ・学校での通訳サービスの充実

### (2) 子どもに対する支援

#### 二極化の側面がある

##### ア 中学生から来日すると日本の授業へついていけず、進学・就学に支障が出る

- ・学習サポートの充実（学校での補習、ボランティアの学習支援教室）
- ・日本の教育制度の理解（保護者も含めて）
- ・ローモデルの推奨、

##### イ 幼い頃に来日することにより、母語ができず、家族での孤立、家族の通訳的な役割になってしまう

- ・ヤングケアラーになることを防ぐために、通訳サービスを利用する
- ・母語支援の重要性
- ・話せても日本語の学習能力は低い可能性があるため、学習支援教室が大切

### (3) 外国人への情報提供

- ・ICTの活用（翻訳機器、オンライン活用、SNS）
- ・やさしい日本語の普及
- ・通訳サービスの充実

### (4) 社会全体での支え

- ・孤立を防ぐために地域のイベントに参加し、交流をしていく
- ・日本語を話せるだけでなく、社会で支えあう仕組みが大切

## Aグループ

シチュエーション ・中学生と小学生の子どもがいるが、中学生は来年、受験を控えている  
 ・小学生は日本語は話せるが最近、学校の勉強についていけない様子

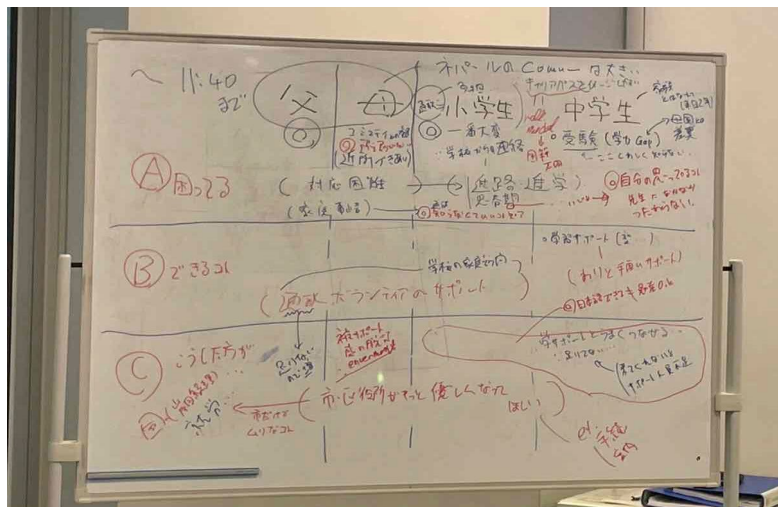
想定家族	父	母	小学生	中学生
国籍	ネパール	ネパール	ネパール	ネパール
年齢	40	38	8	15
在留資格	技術	家族	家族	家族
日本語	日常会話	挨拶のみ	流暢に話せるが学校の勉強がついていけない	日常会話
母語(ネパール語)	流暢	流暢	聞けるが話せない(日本語のほうが得意)	流暢
来日	10年	5年	5年	2年

### ■グループでの話し合いで出た意見をまとめています。

困っていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもをどう支援すればよいかわからないかもしれない</li> <li>仕事が忙しくて子どもの面倒が十分に見られない</li> <li>中学生の受験が心配</li> <li>将来像が描けているか</li> <li>地域との繋がりが十分か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語が不自由なため自分の居場所が見つけられない</li> <li>仕事が不安(そもそもできない)</li> <li>子どもの教育関連の知識不足</li> <li>地域との繋がりが不足</li> <li>自信をなくしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>母語(ネパール語)ができないため、家族の会話についていけない</li> <li>学習内容の理解不足で進学できるかどうか不安</li> <li>将来を考えるための学びが足りなくなる</li> <li>勉強を教えてくれる人が近くにいない</li> <li>学習能力(日本語)の不足</li> <li>将来への不安</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語があまりできないため、日本の受験対策や制度がわからない</li> <li>自分の進路がちゃんと決められないかもしれない(親に相談必要)</li> <li>家族とのコミュニケーション不足</li> <li>学習言語の不足</li> <li>塾などにいけるか</li> </ul>
できること(現在の制度や行政サービス等のできること)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自国のコミュニティに頼る</li> <li>自身の力を活かしたボランティア(有償)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の高校説明会に参加する</li> <li>同じ状況にある母親たちのイベントに参加</li> <li>学校への通訳派遣(市民通訳ボランティア)</li> <li>日本語教室に通う</li> <li>ラウンジなどの行事参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任の先生に相談する</li> <li>大学生ボランティアによる学習支援</li> <li>国際交流ラウンジの学習支援</li> <li>教育相談</li> <li>国際学級、学習支援教室への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の教育委員会に受験相談</li> <li>国際交流ラウンジの学習支援</li> <li>YOKEの教育相談</li> <li>学習支援教室の教室</li> <li>ME-net(認定NPO法人 多文化共生教育ネットワークかながわ)の活用</li> </ul>
こうしたほうがいいと思うこと(現在は無いが、将来的にあつたら良いと思うこと)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を届ける</li> <li>会社での付き合い(グローバル企業での仕事)</li> <li>母国のコミュニティづくり</li> <li>子どものサポートの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTAの理解を深める</li> <li>活躍の場の提供(得意なことを活かせる)</li> <li>助けられる目で見られることが恥ずかしい(支援を受けられることは恥ずかしいことではないと伝えていく)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>母国語を勉強できる場所</li> <li>ロールモデルが必要</li> <li>同じ立場の子どもが集う場所</li> <li>学習言語の強化</li> <li>地域学級での学習支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校での補習(外国人向け)</li> <li>市立は外国籍生徒に特化した教育サービスを展開する</li> <li>外国人向けの受験に向けた学習支援</li> </ul>

その他の意見

- ・ボランティア不足はITで補う
- ・シチュエーションが典型的なパターン
- ・やさしい日本語が徹底できていない
- ・横浜市役所がもっと外国人に寄り添った行政サービスを展開すること



## Bグループ

シチュエーション 【日本人】最近、自分が住んでいるマンションに外国人が増えてきた。どのように接すればよいのか  
 【外国人】来日したばかりで生活のルールがわからない

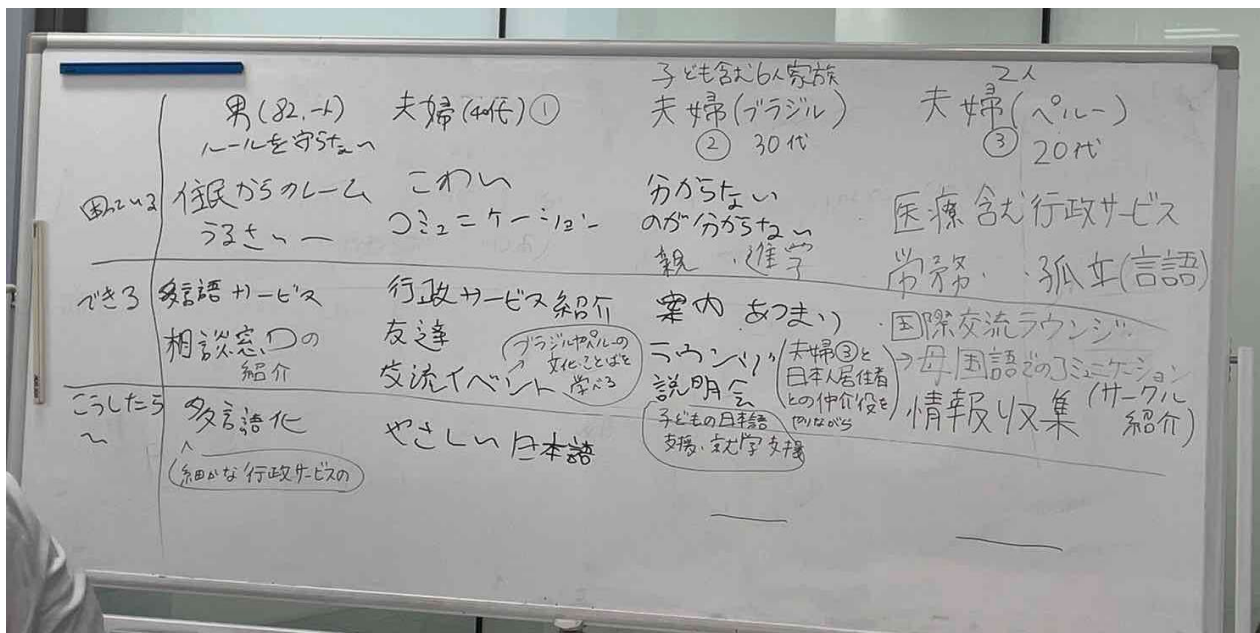
想定家族	男性	夫婦①
国籍	日本人	日本人
年齢	82	40代
職業	無職・町内会長	会社員
家族構成	一人暮らし	子ども含む4人家族
日本語		
来日		

夫婦②	夫婦③
ブラジル	ペルー
30代	20代
会社員	会社員(夜勤)
子ども含む6人家族	夫婦のみ
日常会話	挨拶のみ
来たばかり	来たばかり

### ■グループでの話し合いで出た意見をまとめています。

困っていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語ができないため、ルールを守ってもらうことを伝える術がない</li> <li>・マンションの住民の不安</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜の音量など日本の集住ルールをどう伝えるか</li> <li>・コミュニケーションが取れない</li> </ul>
できること (現在の制度や行政サービス等でできること)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口の紹介</li> <li>・交流イベントに参加してもらう</li> <li>・多言語化した行政サービスを利用</li> <li>・ラウンジの周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人夫婦の子ども同士で交流</li> <li>・ブラジルやペルーの言葉を学ぶ</li> <li>・ラウンジの周知</li> </ul>
こうしたほうがいいと思うこと(現在は無いが、将来的にあったら良いと思うこと)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要言語以外も多言語化 →人材をラウンジに増やす</li> <li>・細かな行政サービスの多言語化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしい日本語</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・何がわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活ルール、医療、福利厚生などがわからない</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・区が郵便物でお知らせ</li> <li>・通訳サービスを使用</li> <li>・区がブラジル人家族を集めて説明会(行政サービス)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流ラウンジ利用(母国語で話せる環境) →サービスの紹介</li> <li>・母国語でのコミュニケーション(サークル紹介)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラジル人が集まる子どもも参加できる会合への参加</li> <li>・通訳を使い、日本人と交流する</li> <li>・ラウンジの紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Chatpotでホームページ指導(多言語)</li> <li>・通訳を使い、日本人と交流する</li> </ul>



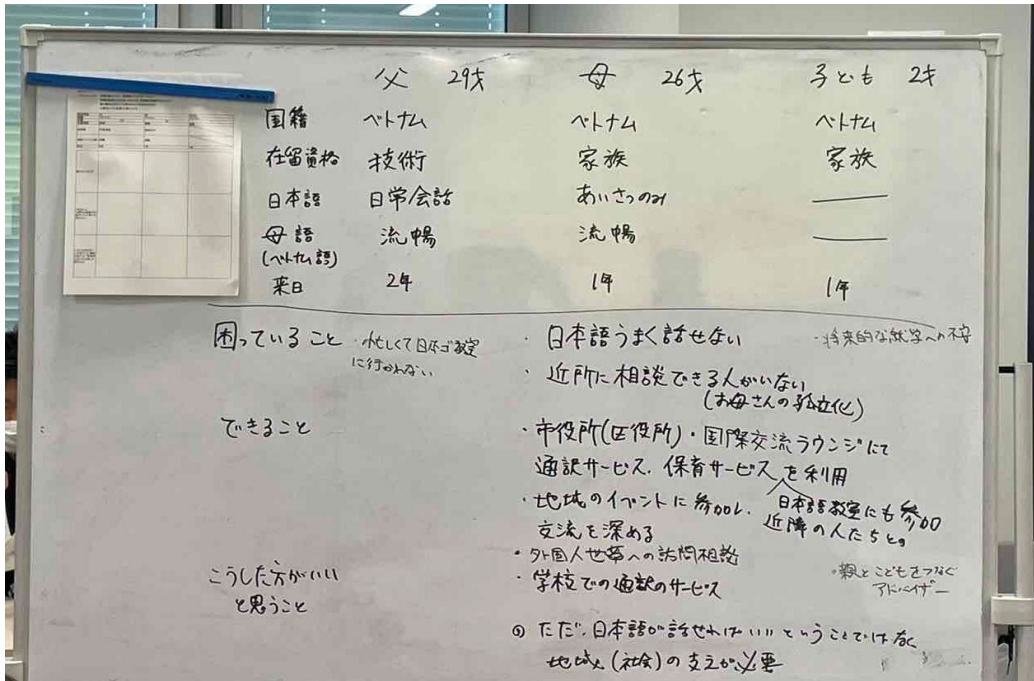
Cグループ

シチュエーション 母親も働くために、保育園に子どもをいれたい  
 母親は近所に知り合いがおらず、保育園の情報がはいらぬ  
 働く場所もどうやって探せばよいのかわからない  
 父親はいつも夜遅くに帰ってくる

想定家族	父	母	子ども
国籍	ベトナム	ベトナム	ベトナム
年齢	29	26	2
在留資格	技術	家族	家族
日本語	日常会話	挨拶のみ	
母語(ベトナム語)	流暢	流暢	
来日	2年	1年	1年

■グループでの話し合いで出た意見をまとめています。

困っていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忙しくて日本語教室に行けない</li> <li>・家族との時間</li> <li>・サポートしたいができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語がほとんど話せないので、日本人とあまり交流できない。</li> <li>・日本語力の向上</li> <li>・相談できる人がいない</li> <li>・父親のサポートもない</li> <li>・仕事を探すのが難しい</li> <li>・母親の孤立化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(将来的に)差別偏見から学校に通えないかもしれないという不安</li> </ul>
できること (現在の制度や行政サービス等のできること)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所に行って、サポートのサービスを探す</li> <li>・通訳サービスを利用する</li> <li>・国際交流ラウンジを利用</li> <li>・日本語教室へ行く</li> <li>・地域ごとにある保育サービスを利用</li> <li>・市役所に相談</li> <li>・地域イベントへの参加</li> </ul>	
こうしたほうがいいと思うこと(現在は無いが、将来的にあつたら良いと思うこと)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での通訳サービス</li> <li>・イベント、日本人の知り合いを作る</li> <li>・日本語が話せれば良いというわけではなく、社会で支えあう仕組みが大切</li> <li>・親が努力していく姿を見せることが大切</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(将来的に)</li> <li>・学校での日本語支援</li> <li>・日本の学校生活になじめない可能性があり、親と子をつなぐアドバイザー必要</li> </ul>



Dグループ

シチュエーション 祖父が最近、認知症にかかり、物忘れが激しい  
両親が仕事で忙しく、家にあまり両親がいない

想定家族	父	母	子ども	祖父
国籍	中国	中国	中国	中国
年齢	45	43	14	72
在留資格	現業職(工場)	現業職(工場)	家族	家族
日本語	日常会話	日常会話	・流暢 ・学校の勉強にたまについていけない	あいさつのみ
母語(中国語)	流暢	流暢	流暢	流暢
来日	10年	10年	8年	2年

■グループでの話し合いで出た意見をまとめています。

困っていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事が忙しくて家にいない</li> <li>・家で過ごせる時間が少ない</li> <li>・祖父の相手ができない</li> <li>・子どもの話が聞けていない</li> <li>・子どもの勉強が見られない</li> <li>・祖父の病院に付き添いにくい</li> <li>・祖父への緊急時の対応ができない</li> <li>・学費の貯金が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事が忙しくて家にいない</li> <li>・家で過ごせる時間が少ない</li> <li>・祖父の相手ができない</li> <li>・子どもの話が聞けない</li> <li>・子どもの勉強が見られない</li> <li>・祖父の病院に付き添いにくい</li> <li>・日本の介護制度を知らない可能性があり</li> <li>・公的機関への手続きが難しい</li> <li>・家事の時間が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校以外の居場所</li> <li>・家族、両親と話せる時間がない</li> <li>・学校の勉強についていけないことがある</li> <li>・祖父の世話をする時間が増えるのでないかと心配</li> <li>・日本語を話さなければいけない責任を感じる</li> <li>・日本の中学校のルール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語が話せない→言語の壁がある</li> <li>・認知症のため学ぶ能力の低下</li> <li>・医療的支援が受けにくい</li> <li>・介護</li> <li>・老人ホームに通いたいが言葉が通じない</li> </ul>
できること (現在の制度や行政サービス等のできること)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語教室などをすすめる</li> <li>・予約システムの多言語化</li> <li>・子どもの学習のお悩み相談をオンラインで開催</li> <li>・経済的支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語教室などをすすめる</li> <li>・子どもの勉強の相談会(チャットポットを含め)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援をしてくれることを探す</li> <li>・日本語の勉強会</li> <li>・子どもの支援</li> <li>・学校以外の居場所へ行く</li> <li>・話を聞いて、心身の不調を軽減</li> <li>・地域で日本語のボランティア</li> <li>・学校の先生とのヒアリング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関</li> <li>・医療通訳</li> <li>・地域包括支援センター相談</li> <li>・ケアマネジャーの紹介</li> <li>・デイサービス利用</li> <li>・翻訳機能の活用</li> <li>・医療施設に向けた「やさしい日本語研修」</li> <li>・予約システムの多言語化対応</li> </ul>
こうしたほうがいいと思うこと(現在は無いが、将来的にあったら良いと思うこと)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの言語を学びあう</li> <li>・やさしい介護保険制度の紹介</li> <li>・日本人側から中国語を学ぶ</li> <li>・日本に住む外国人の方でグループをつくる</li> <li>→アドバイスをもらったり、助けてもらう</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童クラブ</li> <li>・地域の日本語勉強会への参加(夏休み、土日とか)</li> <li>・同じ境遇の子と友達になる</li> <li>・言語交流会、授業、夜間中学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国語可能なヘルパー養成</li> <li>・予約システム(多言語対応)</li> </ul>

